



2026年6月17日

各 位

会社名 株式会社キムラタン
代表者名 代表取締役 九鬼祐一郎
(コード番号 8107 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 木村 裕輔
(電話 078-806-8234)

ウェアラブル事業の新製品開発・事業展開の進捗に関するお知らせ

当社が2025年3月31日付「ミツフジ株式会社との資本・業務提携に関するお知らせ」において公表いたしましたミツフジ株式会社（以下、「ミツフジ」といいます。）との業務提携につきまして、その後の進捗状況をお知らせいたします。

当社は、成長戦略の柱の一つとして位置付けるウェアラブル事業において、開発パートナーであるミツフジとの共同開発を推進しており、複数の新製品について開発及び事業化に向けた取り組みが具体的に進展しております。

当社は、ミツフジが研究開発を進める生体情報モニタリング技術を活用した製品について、開発段階から実証実験に参画するとともに、販売および市場展開を担っております。本取り組みにより、幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした体調モニタリングや熱中症対策に資する製品群を順次市場へ投入してまいります。

記

1. 背景

厚生労働省の人口動態統計によると、令和6年において熱中症による死亡者数は2,160名と（令和5年は1,651名）増加を続けており、特に65歳以上はそのうち85.0%の1,835名と大きな比重を占めております。こうした状況の中、当社とミツフジは特に高齢者の室内における熱中症リスク軽減に貢献すべく、2025年3月にウェアラブル事業に関する資本・業務提携を締結し、中長期的なパートナーシップのもと、生体情報モニタリング分野での事業展開を進めてまいりました。このたび、同提携および両社の共同開発の成果として、以下の製品群の開発・事業化が具体的に進展しております。

2. 各製品の開発・事業化の進捗

(1) 高齢者向け 室内熱中症対策製品

脈波から深部体温の変化を推定する特許技術を搭載し、高齢者の室内における熱中症リスクの軽減に資する製品です。現在、製品のベータ版（試作版）の開発が終了しており、本年中の実証実験の実施、および2027年の第1弾製品の市場投入を予定しております。本製品については、当社が独占販売権に基づき販売を担います。

(2) 幼児・小学生向け 熱中症対策製品（3歳～6歳の幼児および小学生対象）

脈波での測定が難しいこの世代に向け、脈波とは異なる新たな測定方式を用いた熱中症対策製品の開発に着手いたしました。2027年の試験販売に向けて準備を進めております。

いずれの製品も、ミツフジが研究開発を担い、当社が実証実験に参画して共同で開発を進めるとともに、製品の販売を当社が担う体制で取り組んでおります。

3. 成長戦略上の位置づけと市場機会

当社は、乳幼児から高齢者までのライフステージ全体をカバーする体調モニタリング・熱中症対策の製品群を、ウェアラブル事業の中核として育成してまいります。気候変動による熱中症リスクの高まり、2025年6月の職場における熱中症対策の義務化（改正労働安全衛生規則）、などを背景に、当社が事業を展開する関連市場は中長期的な拡大が見込まれております。

当社が関連する主な市場の規模と将来見通し（第三者調査・推計）

熱中症予防製品市場（国内）：2025年 約743億円（前年比約3%増）。世界市場は2023年 約98億米ドル → 2030年 約133億米ドルへ拡大の予測（年平均約4.5%）。

保育施設等のICT化関連市場（国内）：2018年度 約186億円 → 2025年度 約382億円（約2倍に拡大）。

高齢者見守りサービス市場（国内）：2020年 約262億円 → 2030年 約381億円へ拡大の予測。

（出典）熱中症予防製品市場（国内）：日本経済新聞（2025年5月、市場調査に基づく報道値）／同（世界）：QYResearch
／高齢者見守りサービス市場：シード・プランニング。いずれも第三者が公表する市場全体の規模（推計・予測）であり、当社の売上・販売目標または業績見通しを示すものではありません。数値は各調査の公表時点のものです。

4. 今後の見通し

各製品の開発・事業化の状況につきましては、進捗に応じて適時に開示してまいります。その他の開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上